

教科(科目)	外国語(論理・表現Ⅲ)	単位数	2単位	学年	6学年 文系
使用教科書	数研出版『EARTHRISE Logic and Expression III Advanced』				
副教材等	数研出版『EARTHRISE アースライズ総合英語』、『(教科書準拠) ワークブック』 いっずな書店『Vintage 3rd Edition』、桐原書店『大学入試システム英作文』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。</p> <p>②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切に思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。</p> <p>③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～</p> <p>①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。</p> <p>②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。</p> <p>③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。</p> <p>④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。</p>

2 学習目標

<p>話すこと [やり取り], 話すこと [発表], 書くことの活動を通じ、以下の資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 話すこと [やり取り]: 日常的・社会的な話題について、多様な語句や文を用いたり、論理の構成や展開を工夫し、<u>支援をほとんど活用しなくても、目的や場面、状況などに応じて、聞き手を説得できるよう、情報や考え、気持ちなどを整理して伝え合ったり、意見や主張、課題の解決策などを詳しく話して伝え合うことができる。</u></p> <p>(2) 話すこと [発表]: 日常的・社会的な話題について、多様な語句や文を用いたり、事前の準備などにおいて、論理の構成や展開を工夫し、<u>支援をほとんど活用しなくても、目的や場面、状況などに応じて、聞き手を説得できるよう、情報や考え、気持ちなどを詳しく伝えることができる。</u></p> <p>(3) 書くこと: 日常的・社会的な話題について、多様な語句や文を用いたり、事前の準備などにおいて、論理の構成や展開を工夫し、<u>支援をほとんど活用しなくても、目的や場面、状況などに応じて、読み手を説得できるよう、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。</u></p>
--

3 指導の重点

<p>進学希望者が多いことから、</p> <p>① 英語を読んだり、書いたり、聞いたり、話したりする基礎となる英語の特徴やきまりについての理解を目指します。</p> <p>② ①で学んだことと言語活動を効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能を身につけることを目指します。</p> <p>③ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手などに配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を目指します。</p> <p>④ 以上の資質や技能を活用しながら、入試や英語検定や GTEC 等に対応できる英語力の基礎を身につけます。</p>

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

5 評価方法

各観点における評価方法は次のとおりです。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 パフォーマンステストの分析 振り返りシートの記述の分析 課題の取組 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 パフォーマンステスト レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 課題の取組 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 <ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 パフォーマンステストの取組の観察 レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 課題の取組 などから、評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	はじめに パラグラフ展開パターン メールを書く Lesson 1 Coming to Japan (Travel) システム英作文 10 態	8	メール返信	S: 訪日観光客数増加の利点と欠点について、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S: おすすめの観光スポットと交通機関について、適切な英語で 40 秒で発表する。 W: 適切な英語を使い、おすすめの観光スポットと交通機関を含めて、80 語程度で返信メールを書く。	8	発表の様子 ワークシート
	Lesson 2 Online shopping (Shopping) システム英作文 11 比較	8	カスタマーサービスに 対処依頼の メールを書く	S: オンラインショッピングに潜む問題とその回避方法について、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S: オンラインショッピングで起きた問題と、カスタマーサービスに依頼した対処方法について、40 秒で発表する。 W: オンラインショッピングで起きた問題の報告とその対処依頼のために、適切な英語を使って、カスタマーサービスに 90 語程度のメールを書く。	8	発表の様子 ワークシート・週末課題
5	Lesson 3 Preparing to study abroad (Education) システム英作文 12 否定	8	問い合わせの メールを 書く	S: 留学を成功させるのに大切なことについて、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S: 問い合わせのメールについて、適切な英語で 40 秒で発表する。 W: 適切な英語を使い、90 語程度で留学先のニュージーランドの高校に問い合わせのメールを書く。	8	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題

	意見を述べる Lesson 4 24-hour stores (Economy) システム英作文 13 特殊構文	8	24時間営業 の問題につ いて意見を 述べる	S:24時間営業の問題について、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S:24時間営業の問題について、適切な英語を使い、1分で発表する。 W:24時間営業の問題について、適切な英語を使い、90語程度で意見を書く。	8	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
6	Lesson 5 Smart agriculture (Agriculture) システム英作文14 話法	8	スマート農業 について意 見を述べる	S:スマート農業について、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S:スマート農業について、適切な英語を使い、1分で発表する。 W:適切な英語を使い、スマート農業が日本で一般的になるかどうかについて、90語程度で意見を書く。	8	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
	前期中間考査	1			1	ペーパーテスト パフォーマンステスト
	Lesson 6 Aiman, the household robot (Technology) システム英作文 15 会話表現	8	テクノロジー について意 見を述べる	S:テクノロジーの利点と欠点について、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S:人気になると思う家庭用ロボットについて、適切な英語を使い、1分で発表する。 W:適切な英語を使い、人気になると思う家庭用ロボットの機能について、100語程度で文章を書く。	8	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
7	イラストを説明する Lesson 7 Recipes (Food) システム英作文 Basic 問題練習	8	ご当地料理 のついで のレシピを 書く	S:ご当地料理の人気を広めるための方法について、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S:お好み焼きの作り方について、適切な英語を使い、1分で発表する。 W:適切な英語を使い、80語程度でお好み焼きのレシピを書く。	8	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
	Lesson 8 A helping hand (Society) システム英作文 Basic 問題練習	8	ある人の人 助けの経験 について書 く	S:車いす利用者が直面する問題点を挙げ、どのように手助けできるかについて、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S:ある人の人助けの経験について、適切な英語を使い、1分で発表する。 W:適切な英語を使い、ある人の人助けの経験について90語程度で書く。	8	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
9	申込書・応募書類を作る Lesson 9 International Science Fair (Science) システム英作文 Basic 問題練習	8	研究プロジ ェクトを説 明した申込 書を書く	S:海外のサイエンスフェアに参加するかどうかについて、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S:研究プロジェクトについて、適切な英語を使い、90秒で発表する。 W:適切な英語を使い、110語程度で研究プロジェクトを説明した申込書を書く。	8	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
	前期期末考査	1			1	ペーパーテスト パフォーマンステスト
	Lesson 10 Future career plans (Career) システム英作文 Basic 問題練習	8	インターン シップへの 応募書類を 書く	S:将来のキャリアをどのくらい早く決めるべきかについて、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S:申し込みたいインターンシップについて、適切な英語を使い、90秒で発表する。 W:インターンシップへの申し込みを適切な英語を使って、100語程度で書く。	8	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題

10	要点を整理する Lesson 11 Media reliability (Media) システム英作文 Basic 問題練習	8	さまざまなメディアによる情報の信頼性について要点を整理し意見を述べる	S: 電子媒体と紙媒体ではどちらの情報源をよく使うかについて、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S: さまざまなメディアによる情報の信頼性について、適切な英語を使い、90秒で発表する。 W: 適切な英語を使い、さまざまなメディアによる情報の信頼性について、110語程度で意見を書く。	8	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
	Lesson 12 Garbage problems (Environment) システム英作文 Basic 問題練習	8	ゴミ問題とその解決方法について、要点を押さえて意見を述べる	S: 身の回りのゴミ問題とその解決方法について、適切な英語で、自分の考えやクラスメートの考えをお互いに共有する。 S: ゴミ問題をその解決方法について、適切な英語を使い、90秒で発表する。 W: 適切な英語を使い、グラフとメールの要点を押さえて、ゴミ問題とその解決方法について、110語程度で意見を書く。	8	発表の様子 振り返りシート ワークシート・週末課題
11	精読演習 自由英作文演習 大学入学共通テスト対策問題演習	1 2	大学入試演習	・ 英文を正確に読むための演習および英文を正確に書くための英作文演習 ・ 大学入学共通テストに準じた問題演習	1 2	授業の様子 振り返りシート ワークシート・課題
	後期考査	1			1	ペーパーテスト パフォーマンステスト
12	精読演習 自由英作文演習 大学入学共通テスト対策問題演習	1 2	大学入試演習	英文を正確に読むための演習および英文を正確に書くための英作文演習 ・ 大学入学共通テストに準じた問題演習	1 2	授業の様子 振り返りシート ワークシート・課題
1	精読演習 自由英作文演習 大学入学共通テスト対策問題演習	1 0	大学入試演習	英文を正確に読むための演習および英文を正確に書くための英作文演習 ・ 大学入学共通テストに準じた問題演習	1 0	授業の様子 振り返りシート ワークシート・課題
2	精読演習 自由英作文演習 大学入学テスト対策問題演習	8	大学入試演習	英文を正確に読むための演習および英文を正確に書くための英作文演習 ・ 大学入学テストに準じた問題演習	8	授業の様子 振り返りシート ワークシート・課題
3	精読演習 自由英作文演習 大学入学テスト対策問題演習	5	大学入試演習	英文を正確に読むための演習および英文を正確に書くための英作文演習 ・ 大学入学テストに準じた問題演習	5	授業の様子 振り返りシート ワークシート・課題

7 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに理解度や定着度をはかるための小テスト、ワークシート（レポート）を提出することとなります。
- ・ レポートを提出し、パフォーマンス課題とみなすことがあります。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。

8 担当者からの一言

「論理・表現Ⅲ」は、英語を使って口頭で情報や考えをやりとりしたり、発表したり、文にまとめて書くなどの活動を通じて、英語の核となる英語の特徴やきまり、それに基本的な語句を身につけることを目指す科目です。一旦、これらを身につけてしまえば、この科目にとどまらず、英語を読んだり、書いたり、話したり、聞く力が飛躍的に高まります。ただ、すぐには身に付きません。授業だけでなく家庭学習においても、言葉を実際に使いながら、きまりや表現を身につけたり、またそれとは逆に、きまりや表現を学習してから実際に使う学習法が有効です。ただ、やみくもに学習しても効果的ではありません。内容をしっかり理解し、ポイントとなる部分を意識しながら練習や学習をしましょう。ひとたび身につけてしまえば、一生の財産となります。時間や労力が必要ですが、ともに頑張っていきましょう。(担当：高松、山崎)